



—注意事項—

- ・マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。
- ・このマップは、洪水浸水想定区域図、内水浸水想定区域図、ため池ハザードマップなどの情報に基づいて作成しています。
- ・国・県管理河川からの氾濫は、各河川管理者が「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）に基づき解析を行っています。
- ・一部の豊田市管理河川等からの氾濫については「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）に記載されている土木研究所PRIモデルを用いて解析を行っています。
- ・内水氾濫により想定される浸水深は、20cm以上を図示しています。
- ・ため池からの氾濫は、満水のため池が決壊した際の影響範囲を図示しています。
- ・浸水実績（平成12年東海豪雨）の区域は、当時の聞き取り等により作成したものを図示しています。このマップは、土地利用や都市施設の変遷（宅地造成等）を反映した上での解析結果を掲載しているため、浸水実績（平成12年東海豪雨）が浸水想定区域内に含まれていないことがあります。
- ・土砂災害警戒区域等は令和2年12月8日現在の内容です。
- ・事後の基礎調査によって土砂災害警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります。
- ・一時避難場所・一時車両退避場所は、市内全域を対象とし、一時的に利用できる施設です。